

市政に関する地域座談会実施報告書

◇平成23年度 第1回(通算54回) 中町・上町地区

開催日時	平成23年10月28日(金)午後7時30分～午後9時00分		
会場	白岩 中町公民館	出席者数	21人 (男14・女7)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
◆市政報告 市長(30分)			
◆質疑応答			
問① 特老ホームから112号バイパスへ出る道の道幅が狭く、車がすれ違うこともできないため、バイパスを渡るのに時間がかかり苦勞しており、道路拡幅をお願いしたい。高屋地区にはバイパスを横切る地下道がある。			
【答】 片側通行で大変だと思う。私も昨日、あそこで大分待った。前向きに検討したい。道路の拡幅等については市で優先順位を決めて優先度の高い順に実施となるので、逼迫感がある場合は毎年要望してもらいたい。			
問② 陵南中から市立病院前にかけての道路は、狭いにも関わらず交通量が多いので、早期改善をお願いしたい。			
【答】 資料にある「山西米沢線整備事業」として整備を予定しており、現在、用地買収を進めているが、結構、予算も時間もかかる。今年から整備を進めることにしているが、現在は、グリーンベルトやポール等を設置したり工夫しており、当面、できる範囲の中で安全確保に努めていく。			
問③ 旧白岩出張所跡地は中町町会が管理し、役員で年2回の草刈をしているが、作業をシルバー人材センター等をお願いできないか。また、管理は町会が行っているが、しらいわ保育所の運動会等、無断で使用している例もあり、町会に連絡をするようにしてほしい。			
【答】 保育所の件は伝えておく。管理経費の問題は、行政として何か手当てできることがあるか検討したいと思う。町会の行事等の際に地域いきいき事業で予算をもらうなど、白岩地区の担当職員とも話し合いながら知恵を出していただければありがたい。			
問④ 団地の公園等は維持管理費として予算がある。出張所跡地についても同様の取扱はできないのか。			
【答】 どのような方法が可能であるか、研究していきたい。			
問⑤ 国からの戸別保障について、私のところは昨年約55万円だったが今年は86万円弱と上がっており、はえぬきの販売価格も昨年の12,000円から			

14,500円と上がっている。これらのものが上がっているのに、標準小作料だけが1/25の改定で10aあたり16,000円から12,800円に下がった。借りて作る方としては安くてありがたいが、双方の理解が得られるよう中立的な立場で決定して欲しい。また、金額が下がった時だけでなく、上がった時も相談にのって欲しい。

【答】 私からも農業委員会に伝えておくが、まずは地元白岩の農業委員の方にお話しいただきたい。

問⑥ 以前は、衣食住は家庭で、学力は学校でということで、中学校では牛乳給食のみとしていたが、家庭格差が広がる等、生徒の状況も変化しており西郡で初めての今回の完全給食実施という市長の英断に感謝する。

【答】 西郡では初めてだが、県内全体で見れば、他はどこでもやっている。中学校給食はまだ始まったばかりであるが、試行錯誤しながら改善を行っている。最初は、まずいとか量が少ないとかの意見があったが、全体的に量を増やしたり、盛り付けを男女別など工夫してもらったりとかで対応している。日東ベストにも子供たちが嫌いなものでも食べられるような工夫をお願いしている。地産地消についても割合を高めていく必要があると考えており、今後とも様々なご意見を頂戴したい。

問⑦ 寒河江市では、活断層はどの辺りに走っているのか。上町の自主防災組織で訓練する際に、説明したいので聞いておきたい。

【答】 大石田から寒河江にかけてと、寒河江から上山にかけてある。地図に落としてあるので、後ほどマップをおあげするが、インターネットにも掲載しているので、確認していただきたい。

問⑧ 小中学校や公的施設は災害時の避難所になっていると思うが、地震でも大丈夫か。どこが避難所になっているのか、この地域の避難場所がよく分からない。上町は小学校でよいのか。

【答】 小中学校の耐震化は今年度で終了するが、保育所がまだ残っており、避難場所にもなっているので、今年中に調査し、来年度工事を行いたい。

避難場所については、一人一人の住民が普段からここが避難所だと表示をして知っておく必要があり、意識化のためにも来年度に向け、周知できるよう施策を充実させていく。

【答】 (総務課長) 以前、全戸に配布した「洪水ハザードマップ」に記載しているが、これによると上町の避難場所は、白岩小、保育所、老人福祉センターとなっており、有事の際は一番近い所に避難していただきたい。

問⑨ 今年9月に説明会があったが、西部地区は下水道整備をしない訳だから、その分、浄化槽設置の金銭的な補助をする等の対応をお願いしたい。

【答】 30年待ってもなかなか下水道の整備が進まないのので、浄化槽を市町村

設置型で整備して進めていくことで普及をはかる。公共下水道と同様の料金体系、仕組みで行う予定だが、排水の問題がある。土地改良区との問題がまだ残っている。この区域は側溝があるので大丈夫だと思う。コストが安い分、料金を安くすべきという意見もわかるので、その辺は今後研究していきたい。

問⑩ 説明会に人が集まらなかった。PR不足だと思う。

下水道と比べて、ランニングコストは分かるが、最初のイニシャルコストがかかり、不公平感があり、そのことを説明会で質問したが回答が貰えなかった。せっかくやるのだから、形式的なものでなく、前向きな説明会を開催してほしい。

【答】 事前のPRをしっかり行い、十分にご理解いただくよう努力したい。

問⑪ 市長さんには白岩地区への心配りや学童保育への予算増額等に感謝。

しかし、0歳児の子ども待機児童がおり、対応が難しいと思う。

今は、おばあちゃん方が働いている家庭も多く、見てくれる人がいなくなって、産んでも見てもらえないという不安がある。

また、3歳未満の子どもが保育所に入るためには1年待たなければならないという話を聞いた。少子化の時代、保育所の心配をせずに子どもを産める環境を整備して欲しい。

【答】 寒河江市内で、就学前の子どもは2,100人位いて、その内750人位が認可保育所へ入所（内市立保育所666人）、606人位が幼稚園等に入っており、残り770人程度は自宅保育（4歳以下）となっている。

子どもの数は全体で減っているが、社会情勢や家庭環境の変化で、入所希望児童が増加している。

未満児保育については、昨年度まで市立たかまつ保育所の実施であったが、今年度から2民間施設を認可保育所とし、小さい子どもたち引き受けてもらっている。今年の4月で寒河江市の待機児童はゼロとなった。今後とも民間と一緒に対応していくとともに、幼児全体としては減少してくるので未満児の定数を増やすことなども考えていきたい。